

令和5年度

社会福祉法人緑生福祉会

基本理念

やすらぎ・やさしさ・活力・自由・清潔

社会福祉事業の主たる担い手として『やすらぎ・やさしさ・活力・自由・清潔』を基本理念とし、私たちのサービスが利用者様にとって、生活環境を整えることが出来る質の高いものとするように提案していきます。

運営方針

緑生福祉会に関わる皆様へ、私たちのサービス支援を提供するにあたって、2022年度内におきた元職員の暴行事件報道の対応で信頼を大きく揺るがしました。利用者様1人1人の生活の状況から、見て、考え、支援の提案をすることで、私たち職員が寄り添う「考える杖」としてお支えする方針は社会福祉法人 緑生福祉会の目指す姿勢は変わりありません。時代と地域の求めに応え、理念と照らし合わせながら、事業を全うするために変化と進化をいとわずに利用者様の生活支援と科学的介護の理論と実践を推し進めます。元職員の暴行事件報道内容は、結果的に不起訴となっておりますが、人権を侵害する行為を許さず、昨年度の下半期に設定した外部委員の方で構成されている第三者検証委員会で提起された内容について、検討し実践してまいります。共用部分のカメラ設置、虐待防止を含めた施設内研修の徹底を通し、健全な施設運営に努めていくようにしていく所存です。

経営については、新型コロナの影響による稼働率の減少、消毒物品をはじめとした消耗物品の資料量の増大、水道光熱費の必要経費の増大によって、厳しい施設運営を強いられています。また、両施設の壁の補修や屋上防水工事の大規模修繕が必要な状況となっているため、年度いっぱいをかけて工事業者を選定してまいりました。そうした厳しい経営状況を利用料金へ考慮できる事業活動ではないため、一層の節約を試みると共に、国・県・市から社会福祉法人へ補助金が出ているものは、フル活用をしながら、経営をすすめてまいります。

職場環境において、昨今の労働事情を鑑た場合、介護業界に対する有効求人倍率は依然として高く、人材紹介会社を使用せざるを得ないケースが頻出している状況です。ライフステージ、年齢、国籍など、一定の配慮をしながら、少しでも長く勤め続けられる環境設定が急務だと感じております。業務時間の管理徹底をしながら勤務時間の見直しや業務委託の見直しなどを通して、2025年問題、2040年問題も乗り越えられる職場環境設定づくりをすすめてまいります。新型コロナウイルスの対応は、一部緩和する流れはありますが、国や名古屋市の指針と事業継続(BCP)計画に基づきながら、適切に対応をすすめます。

マイナンバーカードにおける健康保険証の紐づけ等、紙で管理していた書類や手続き等がデジタル化していく流れが出てきております。業務の滞りが発生しないように、義務化していくものは優先順位を上げながら、適宜、必要なデジタル対応をし、業務の負担軽減と制度や仕組みを活用しやすいように順次対応してまいります。